

三菱自動車、ジャパンサイクルリーグとパートナーシップ契約を締結 ～エクリプス クロスをオフィシャルカーとして提供～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下「三菱自動車」）は、株式会社ジャパンサイクルリーグ（本社：東京都港区、社長：加藤 康則氏、以下「JCL」）とオフィシャルパートナー契約を締結しました。7月10日（土）開催の「三菱地所 JCL ロードレースツアー2021 第3戦 広島ロードレース」より、JCLロゴのオリジナルラッピングを施した『エクリプス クロス』のPHEVモデル3台をオフィシャルカーとして提供します。



『エクリプス クロス』ジャパンサイクルリーグ仕様車

レース時の審判車両として走行する際は、排出ガスを出さないクリーンなEV走行モードで伴走し選手に配慮します。また、全国レース会場への移動時は、静かで滑らかなモータードライブと運転支援システムにより長距離運転の疲労を軽減、広いラゲッジスペースには備品など多くの荷物を積載できます。

『エクリプス クロス』のPHEVモデルは「日常はEV、遠出はハイブリッド」として、力強く滑らかなEVならではの走りを心ゆくまで楽しむことができます。ガソリンを使わずにモーターで走るEV走行モードでは57.3km（EV航続距離、WLTCモード）走行することができ、バッテリー残量が少なくなるとエンジンで発電しながら走るシリーズ走行モードに移行します。また、先行車の加速・減速・停止に対応して追従走行をサポートするレーダークルーズコントロールシステム [ACC*¹] や車線逸脱警報システム [LDW*²] などの運転支援システムも搭載しています。

三菱自動車は JCL のパートナーとして本活動を通じ、スポーツの振興・活性化に貢献してまいります。

*1 ACC：Adaptive Cruise Control

*2 LDW：Lane Departure Warning

ご参考：

『エクリプス クロス』は三菱自動車らしさを追求したスタイリッシュなクロスオーバーSUVで、2017年の発売開始以来、好評を博してきました。2020年にはフロントとリヤのデザインを一新し、上質感を高めながら流麗なフォルムとしたほか、荷室容量を拡大してSUVとしての使い勝手を高めました。またツインモーター4WD方式のPHEVシステムを搭載し、爽快感のあるモータードライブを、安心・安全に楽しむことができます。

以上